

各位

会社名 フューチャー株式会社
代表者名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証プライム)
問合せ先 ファイナンシャル&アカウンティング
グループ グループ長 松下 恭和
(TEL (03) 5740 - 5724)

2022年12月期第3四半期連結業績（累計）のお知らせ

1. 2022年12月期第3四半期連結業績（累計）について

当社グループの当第3四半期連結会計年度（2022年1月1日～2022年9月30日）の連結業績は、

売上高	39,614百万円（前年同期比 10.7%増）
営業利益	9,361百万円（前年同期比 43.0%増）
親会社株主に帰属する四半期純利益	7,195百万円（前年同期比 54.7%増）

となりました。

当第3四半期連結累計期間における経済環境をみると、不安定な世界情勢、インフレーション及び急速な円安進行の中でも、企業のDX（デジタルトランスフォーメーション）や業務改革、新たなデジタルサービス開発といったITを通じた経営改革への取り組みは引き続き旺盛です。また、働き方改革によるリモートワークへの対応のほか、企業全体のサプライチェーンの見直しや、ESG・SDGs関連分野におけるITの活用も加速しており、あらゆる業種や領域においてIT投資が活発化しています。更に、個人においても、ECサイト経由での購買、動画やオンラインを活用した娯楽やスポーツ観戦、ネットサービス上での教育、自己啓発など、ITの利用が浸透しました。

このような状況下、当社においては多種多様な顧客から戦略的な案件を獲得したことに加え、中長期的な成長に資する大型プロジェクトが順調に進行した結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間は前年同期比で増収、増益となりました。

各セグメントの業績（売上高・営業利益）については以下の通りとなります。

(1) ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社（フューチャー株式会社のテクノロジー部門を含む）は、新たに金融機関向けの融資支援システム及び食品卸業向けの営業・物流システム刷新に係るシステムの開発を開始いたしました。また、エネルギー業界におけるAI・IoT技術を活用したフルオートメーションシステム開発、デジタルコマースを加速するアパレル業界向けの基幹システム開発、顧客のITインフラの刷新案件等、引き続き多種多様な顧客からの様々な案件を獲得、推進いたしました。これらに加え、当社の中長期的な成長に資するプロジェクトである地域金融機関向け次世代バンキングシステム導入プロジェクト、物流業を始めとした多くの企業向けのDX支援が順調に進行したこと、並びに品質管理の徹底を継続して行ったことにより、前年同期比で増収増益となりました。

フューチャーインスペース株式会社は、定常的な保守運用サービスに加え、既存顧客システムのシステム基盤更改及びクラウド移行案件の受注が好調に推移し、前年同期比で増収増益となりました。

Future One 株式会社は、収益認識基準の適用による影響により前年同期比で減収となりましたが、昨年より推進中の大型案件の確実なプロジェクト推進と品質確保、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfiniOne」の業界特化型の営業展開による受注拡大により、前年同期比で増益となりました。

株式会社ワイ・ディ・シーは物流分野における独自のノウハウを当社グループの顧客に提供し顧客層の拡大に努めるも、SI案件の減少などにより、前年同期比で減収減益となりました。

株式会社ディアイティは、脆弱性診断、インシデント対応、EDR（※）サービスの展開など、サイバーセキュリティ関連の受注が好調に推移している一方、事業拡大に向けた外注費、採用費等の増加により、前年同期比で増収減益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は 33,835 百万円（前年同期比 17.4%増）、営業利益は 9,938 百万円（同 59.6%増）となり、増収増益となりました。

（※）EDR（Endpoint Detection and Response）：コンピュータシステムのエンドポイントにおいて脅威を継続的に監視して対応する技術

（2）ビジネスイノベーション事業

株式会社YOCABITOは、基幹システム刷新によりECサイトの受注効率を向上させ、365日出荷サービスを開始いたしました。これにより受注が好調となった一方、アウトドア市場の競争激化が続いていること、急激な円安による原価上昇の影響を受けていることなどから、前年同期比で減収減益となりました。

東京カレンダー株式会社は、「東カレデート」等のネットサービス収入が安定的に推移する中、前年同期と比較して、回復の兆候は見られるものの広告収入が減少したことから、前年同期比で減収減益となりました。

コードキャンプ株式会社は、法人からの受注、キッズ向けの「CodeCamp KIDS」は伸長したものの、個人向けの受注は競合他社の参入を背景に減少しました。また、来期の成長に向けた営業強化や、認知度向上のための広告宣伝に積極的に投資したことから、前年同期比で減収減益となりました。

ライブリッツ株式会社は、会員管理・ECパッケージ「FastBiz」の新規スポーツチームへの導入に加え、メタバースプラットフォーム「MetaStation」の提供を開始したことなどから、前年同期比で増収増益となりました。

この結果、本セグメントの売上高は 5,909 百万円（前年同期比 16.4%減）、営業損失は 307 百万円（前年同期は営業利益 322 百万円）となり、前年同期比で減収減益となりました。

（注）上記のセグメントの業績数値は、セグメント間の内部売上高または振替高を調整前の金額で記載しております。

2. 今後について

(1) グループ戦略について

中長期的な事業環境としては、DXやリモートワークをはじめとする働き方改革等の変化に加え、ESG・SDGsなどの経済、社会的な課題への対応の要請もあり、企業の積極的なIT投資は続くものと予想されます。

当社グループといたしましては、ITを通じて経営改革を推進していく企業のニーズを的確に捉え、グループシナジーを発揮しながら多面的、積極的に支援することで、多種多様な顧客からの一層高い支持が得られるように努めてまいります。

更に、関心の高まっているESG・SDGs関連では、本年9月より、当社グループの温室ガス排出量を開示しております。この中で、リモートワークに伴う排出量の把握にも努めたほか(※)、開示においてグループ企業ライブリッツが提供するメタバースプラットフォーム「MetaStation」を活用するなど、先進的な取り組みを行っております。今後も自身のESG・SDGs関連の取り組みを進めるとともに、環境対応や脱炭素化に向けたお客様の取り組みを支援してまいります。

また、グループとしての知的財産の有効活用や、M&Aも含めた機動的な戦略投資を行うことで、ビジネスモデルの進化を図り、次期以降の更なる成長へとつなげるとともに、多様な人材の継続的な採用・教育、研究開発への投資といった将来の成長に資する事業基盤の整備を進めてまいります。併せて、グループ内のコミュニケーション強化、品質管理精度の更なる向上等、グループガバナンスの強化を実施してまいります。

(※) メタバース空間における温室効果ガス排出量情報開示に関する当社プレスリリース

https://www.future.co.jp/press_room/PDF/PressReleasea_SustainabilityGHG2021_220920.pdf

各セグメントの特記事項は次の通りです。

(2) ITコンサルティング&サービス事業

フューチャーアーキテクト株式会社においては、経営改革を図る顧客からのグランドデザイン及びDXの推進を意識した、多様な業種からの基幹システム刷新の受注が増加しており、これらプロジェクトの確実な進行を図るとともに、顧客のDX人材育成プログラムの提供等、投資ニーズのある企業からの更なる受注獲得に努めてまいります。

また、地域金融機関に向けた「次世代バンキングシステム」など、業界全体の永年の課題解決に資するITソリューションの提供、デジタル活用による企業戦略全体の高度化支援といった、中長期的な成功につながる取り組みを強化してまいります。さらに、高度な専門知識を有する人材の獲得や教育への投資、品質管理、プロジェクトマネジメントの強化に取り組むことで、これからの時代をリードする体制作りを行ってまいります。

フューチャーインスペース株式会社は、既存顧客システムにおけるシステム基盤更改およびクラウド移行案件が複数立ち上がり、2023年にかけて案件規模が大きくなる見込みとなります。安定的なプロジェクト運営に向け、更なる開発品質改善と人材の育成により、直実に収益を拡大いたします。

FutureOne株式会社は、強みであるオリジナルのパッケージソフトウェア「InfinityOne」の業界特化型の営業展開による受注拡大を図りつつ、製品強化に努め、より一層の収益の拡大を目指します。

株式会社ワイ・ディ・シーは、製造業へのスマートファクトリー化提案に注力し、パイロット顧客への導入を足がかりに新規顧客及び、既存顧客へのソリューション提案を強化するとともに、物流領域においては、より一層のグループシナジーを発揮し、新規案件獲得を目指します。また、新たにクラウドモデルの仕様選定・見積ツールである「CPQ SaaS」をリリースしたことに加え、製造業におけるサステナブルな成長、カーボンニュートラル社会の実現に向け、製造業向けグリーントランスフォーメーション支援サービス「製造GX」の提供を開始しております。これらを通じて収益の更なる拡大をいたします。

株式会社ディアイティは、企業のセキュリティライフサイクルへの対応力をより一層高めるべく、採用活動や社内教育など人材強化を進め、特にニーズの多いマネージドEDRサービスやセキュリティ意識向上トレーニングサービスの提供を推進いたします。

(3) ビジネスイノベーション事業

株式会社YOCABITOは、自社ブランドの認知度を向上させるべく、3月にオープンした旗艦店においてポップアップイベント等を開催いたしました。今後も旗艦店を中心としたPR活動により自社ブランドの認知度を一層の高めるとともに、ECサイトと実店舗間の相互送客を促進させるためのシステム化に注力し、収益の拡大を進めてまいります。また、社会貢献活動の一環として、アスリートのキャリア支援を目的とし、地元プロバスケットボールチームである岐阜スーパースに所属する選手を採用いたしました。

東京カレンダー株式会社は、メディアとシームレスに連携するネットサービス領域の強化、およびユーザーデータの積極的活用に向けた開発を進めており、今後のデジタルプロモーションの強化につなげ、収益を拡大してまいります。

コードキャンプ株式会社は、DX人材育成やリスクリングなどの市場ニーズに合わせた法人向けのサービス強化や、成長領域であるウェブデザイン領域の個人向けサービス強化を行ってより多くの利用者を獲得してまいります。

ライブリッツ株式会社は、メタバースプラットフォーム「MetaStation」に、当年10月に連結子会社化したネイロ株式会社がゲーム開発にて培った3D表現技術を組み合わせ、スポーツやエンターテインメントのみならず、リモートにおける共同作業など様々なビジネスシーンへ展開し、収益の拡大を目指します。

以上

●本件に関するお問い合わせ先：

フューチャー株式会社 IR担当 松下恭和

IR直通 Tel：03-5740-5724 電子メール：ir@future.co.jp